

令和8年度
ソーシャルインクルージョン
研修会

地域共生社会の 実現に向けて ～子ども・若者を 孤立させない支援～

9月8日（火）13：30～16：30

大阪府社会福祉会館301

※研修の詳細は次頁を
ご覧ください

ひきこもりや生活困窮、学校や職場

での孤立など、子ども・若者を巻き込む問題や課題は複雑化・深刻化しています。昨今、SNSの普及によって、不安や悩みを抱える若者などの実態がさらに見えにくい状態にあります。

本研修では、オンライン相談や居場所づくりを通じて若者支援を行う団体と、ひきこもり状態にある方や不登校児への支援に取り組むコミュニティソーシャルワーカーの実践から、生きづらさを抱えた子ども・若者を孤立させないために、子どもや若者が抱える問題や課題の実態を理解し、どのような支援が必要かについて考えます。

「福祉と人権の研修ネットワークおおさか」が大阪府の研修委託事業者として実施いたします



コーディネーター

小野 達也 氏
(桃山学院大学 教授)

対 象

福祉施設（社会福祉法人等）、
社会福祉協議会、市町村担当者、
地域包括支援センター、福祉事務
所等職員（施設種別問わず）、
テーマに関心のある方

実践報告①

認定NPO法人D×P
野津 岳史 氏

(新規事業部マネージャー/ミナミナイトユースセンター長)

これまでの若者支援の実践をもとに、現場で見えてきた子ども・若者を取り巻く課題や支援の現状について報告いただきます。また、社会環境の変化を踏まえ、今後どのような視点や取り組みが求められるのかについて学びます。

若者の孤立という社会課題に取り組む団体。ユキサキチャット（若者の進路・生活相談）やユキサキ支援パック（現金給付と食糧支援）のオンラインを通じた支援や、グリ下（大阪の道頓堀にあるグリコ看板の下）近くに若者が主体的に活動できる居場所として「ユースセンター」を運営しています。

受講料 1,000円

定 員 60名（先着順）

**申込は
こちら
から**

申込締切

8月27日（木）

※受講決定された方には締め切り後1週間以内に受講決定メールを送信します。

※受講料の振込先、期日等は受講決定メールをご参照ください。

実践報告②

社会福祉法人秀幸福社会
庄栄エルダーセンター
神野 享士 氏

(施設統括/コミュニティソーシャルワーカー)

実際の支援事例をもとに、本人との信頼関係の築き方や支援につなげるための工夫、学校や地域と協働する際のポイントについて、現場での豊富な経験を交えながらご報告いただきます。

高齢者施設における統括の立場で、利用者やその家族支援のリーダーとしてかわり、またコミュニティソーシャルワーカーとして、地域で孤立や生きづらさを抱える子ども・若者への支援をはじめ、本人や家族に寄り添った相談支援に取り組み、学校や関係機関、地域住民との連携を大切にしながら実践を重ねています。

〈お問い合わせ〉

(福) 大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター
研修グループ（渡邊・丸橋） ☎ 06-6762-9035

〈主催〉福祉と人権の研修ネットワークおおさか

(構成団体)

(福) 大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター
(一財) 大阪府地域福祉推進財団

※研修のご案内（チラシ）は、1～2枚目に掲載しています。

研修申込みされる皆様へ

大阪府社会福祉協議会
大阪福祉人材支援センター 研修グループ

研修にお申込みされるにあたってのお願い

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループでは、引き続き安心して皆様にご受講いただける環境を整えてまいります。研修申込みされる皆様におかれましてもご協力くださいますようお願い申し上げます。

■安心できる受講環境のために

- ・各事業所におきましても、引き続きの感染対策をされていることと存じます。お互いに安心して研修に受講できるように、各自で感染対策をお願いいたします。
- ・本センターとしては、会場入口に消毒液を設置しておりますので、適宜ご利用ください。また、休憩時等、定期的な換気を行います。
- ・ゴミは、各自お持ち帰りいただきます。

なお、地震・台風など自然災害等により、やむを得ず研修を中止または延期させていただく場合がございます。
中止または延期させて頂く場合は、速やかにご連絡させていただきます。